皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより　第94号
昭和63年7月23日
発行　日野市議会
日野市神明1－12－1
電話（0425）85－1111
内線　601～604

第2回定例会

ふるさと博物館の建設進む

8月に落成式

今定例会で条例制定

昭和63年第2回定例会は、6月10日から6月25日までの16日間にわたり開かれ、市長提出議案20件、議員提出議案3件が可決または、修正可決されました。請願・陳情9件も採択されました。

また、さる5月27日には、昭和63年第2回臨時会が開催され、市長提出議案4件が承認及び同意されました。続いて、日野市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、選任されました。

本会議の経過

今回の第2回定例会は、6月10日に開会されました。

初日の10日、会期を15日間と決めましたが、6月24日に会期を1日延長し、6月25日までの16日間となりました。

市長から行政報告が行われこれに対して、7名の議員から質疑がだされました。主な質疑の項目は次のとおりです。

❶地域保健協議会に諮問した内容について。

❷市立病院の助産婦、看護婦の充足率と今後の対応について。

❸黒川下水道工事における訴訟について。

❹落川地区の農住組合区画整理事業に伴う土砂運搬への行政指導について。

❺春の緑化月間における、緑の羽根募金の報告について。

❻憲法記念行事における、市長の考える憲法五原則とは何かについて。

❼都からの派遣職員の処遇について。

続いて、市長提出議案、請願が上程（審査結果は4頁に掲載）されそれぞれの担当常任委員会に付託されました。

13日～17日には20名の議員から36件の一般質問が行われました。（2、3頁に要約した内容掲載）

20日～21日、各常任委員会が開催されました。

24日～25日には、常任委員会に付託されていた議案、請願の審査報告が行われました。

また、議員提出議案6件が上程され、3件可決、3件否決され、今定例会の日程を全部終了して閉会しました。

ショウブを愛でる子

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会から、永年市政の発展に尽くされたとして、次の議員が表彰されました。

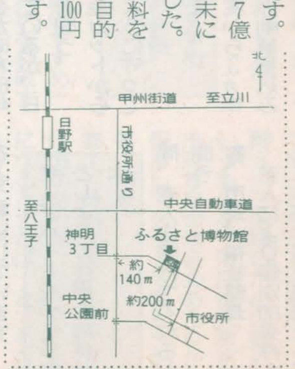
米沢　照男（25年）
川嶋　博（10年）
中山　基昭（10年）
谷　長一（10年）
市川　資信（10年）

主な議案と内容

ふるさと博物館条例（可決）

【制定に至る経緯】 所在は神明四丁目16番地の1です。国有地であったこの土地を市が購入し、昨年から約7億円かけて工事を進めていましたが、予定どおり7月末に完成することになりましたので、条例制定となりました。

【条例の内容】 日野市の歴史、民俗などの資料を集め、市民の皆さんにみたり、きいたりしてもらう目的で、講座の開催や展示をします。観覧料は、一般が100円小学生以上高校生以下50円、その他の規定があります。



職員定数条例を修正可決

【条例改正が提案された趣旨】 ①第四中学校の給食開始に伴う職員は、職員再配置をし更に不足している分は臨時職員を充てていましたが、東京都労働委員会より「定数条例の改正で対処する」との斡旋案が出されました。受諾したので、6名の増を行いたい。②不足傾向のある医師、助産婦、看護婦の職について、一時的に定数を超えて採用し退職者が生じた際の備えにする条項を新設したい、というものです。

【賛否の意見】（発言順）、①都労委の斡旋に基づき、労使間の合意がなされた上での提案は尊重したい。②最低限の増員には理解を寄せるところだ。③内部努力をせずに機械的に増やすやり方は、極めてお粗末だ。④教育の一環としての学校給食全校実施のためには6名増の提案は結構なことだ。⑤将来は、給食調理員が余る事態になる。都労委斡旋の件は内輪の問題だ。病院については、退職者が何故に多いか考えて欲しい。

【修正内容】 定数6名増➡0。病院の条項は適用の「当分の間」➡66年3月迄。

第2回臨時会から

昭和63年第2回臨時会が、5月27日開かれ、市長から提出された4議案全部が、選任や承認がされました。議案名は次のとおりです。

1、日野市監査委員の選任
　次の方の選任に同意がされました。
　高﨑　克好（59歳）
　住所　日野市多摩平五丁目21番地の5
2、日野市市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分の報告承認。
3、昭和62年度日野市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告承認。
4、昭和62年度日野市立総合病院事業会計補正予算（第3号）の専決処分の報告承認。

◎また、選挙管理委員、同補充員に次の方々が議会で選任されました。

選挙管理委員　守屋　聡英、陶山　三男、飯島　豊一、小町　喜三
補充員　井上　信衛、金子　茂、峰岸　立枝、望月　裕子

福島　敏雄

（社会クラブ）

歩行者が安心して歩ける歩道にするために市内歩道の総点検を

問1、交差点における歩道と車道の段差解消を問う。

問2、歩道の切り下げ工夫はできないか問う。

問3、通学路の日頃の安全点検を問う。

問4、福祉環境整備要綱に歩道整備基準が含まれているか。

答、建設部長

答1、歩行者の安全を図るため歩車道を分離することが原則です。急傾斜な箇所もありますので、4月1日施行の福祉環境整備要綱に定める勾配8パーセント以下にする方向で今後進めます。

　国道、都道については、関係方面に要望して行きます。

答2、特殊街渠ブロックを利用し、連続して平坦な歩道になるよう配慮します。

答、教育次長

答3、安全な通学路の設定、通学路上の安全確保、児童生徒の安全指導を一体とし子供達の安全を確保しています。

答、福祉部長

答4、歩道の取付、ガードレールの設置等について基準が定めてあります。

中谷　好幸

（日本共産党）

政府自民党による福祉切り捨ての犠牲者を一人も出すな！ ー生活保護行政の後退について問うー

問1、生活保護申請受理件数の減少原因と不当な受給制限は行っていないか問う。

問2、生活保護申請権に対して、窓口で申請権を侵害しているのではないか問う。

答、福祉部長

答1、受理件数の減少は、①離婚率の低下、②景気の回復③基礎年金の改正による年金受給などがあげられ、全国的に見ても減少傾向にあります。また、法令にそって給付しており、不当な受給制限は行っていません。

答2、窓口で相談を受け、扶養などを聞き、内容を把握して申請書をお渡ししています。

都営住宅の開放型集会所には、地区センターに準ずる助成を行え

問、机、イス、カーテンの備品が備えられるか問う。

答、生活環境、企画財政部長

机、イスは貸し出しの方法で検討します。今後は都と協議し、善処していきます。

質問要旨

れますが、今回は20名の議員から36件の質

本年は楽しめる　小学校のプール

小俣　昭光

（日本共産党）

低所得者のための国民健康保険について

問1、国庫負担金の大幅削減を元に戻す運動について問う。

問2、減免要綱を実効あるものにできないか問う。

答、市長、市民部長

答1、国保の安定健全化に向けて、国保連合会、市長会等で国に復活を要望しています。

答2、国保の納税通知書を送付する時、文書で手続方法をお知らせしています。

豊田駅周辺の環境整備について（南北を結ぶスロープ設置について）

問、豊田駅南口と北口を結ぶスロープ及び南口の自転車置場の設置はできないか問う。

答、建設部長

　JRと協議してスロープ設置を考えます。自転車置場は別に用地確保をしています。

その後のオリエント工場敷地内赤道について

問、拡幅された道路の舗装整備、水路整備について問う。

答、建設部長

　本年中には用地の確保をおえ来年に舗装と水路の整備を完成させていきます。

板垣　正男

（日本共産党）

〝自民党竹下内閣は選挙公約違反の大型間接税を導入するなど〟との表明について

問、反対の表明をするのが大事ではないか、また、その方法について考えはあるか。

答、市長

　市民生活や市の財政に悪影響があるものに賛成できないのは明確だと思っています。意思表示はこの観点で、また議会の動向にも目配りしながら表現等を考えていきます。

答、総務部長

　昨年は「大型間接税、売上税導入反対」の垂れ幕を市役所に掲げました。今回についても、情勢を見ながら、垂れ幕の表現を考えていきます。

日野用水取水堰の延堤計画と用水浄化対策について

問、市の考えを聞きたい。

答、市長

　貴重な用水という考え方で対応すべきと考えています。現地も見て、建設省とも連携していきます。前に濁りが下水道の八王子処理場の工事で生じましたが今後は出さないとの現場責任者の説明です。

天野　輝男

（自由市民会議）

多摩川河川敷内のスポーツ場の整備計画について問う

問1、河川敷内にゲートボール場の設置はできないか問う。

問2、河川敷整備計画の利用計画ゾーニングの変更の努力が必要ではないか問う。

答、市長

答1、何か工夫をして、設置できるよう取り組みます。

答2、ゾーニングの精神を尊重し、できるだけ活用の方途で当局と相談していきます。

都市計画道路の進捗状況について問う

問1、2・2・10号線の開通時期について問う。

問2、神明上都市下水路の進捗状況を問う。

問3、万願寺区画整理地内の1・3・1号線の用地買収の状況を問う。

答、都市整備部長

答1、64年度に一部供用し残りは65年度供用開始予定です。

答2、工事が順調に進めば、66年度に供用開始になります。

答3、直接買収区間は建設省が進め、公共減歩による用地提供分は全体の69・6%を建設省に渡しています。

新井の用水

古賀　俊昭

（自由市民会議）

日野市行財政調査会の答申は具体的に実施されているか

問1、行財政改革の具体的進捗状況を問う。

問2、都からの派遣職員の処遇に起因し、反対する組合の窓口事務拒否について問う。

答、企画財政部長

答1、実施すべき課題の約50%を達成しておりますが今後残りの部分に向け努力します。

答、市長、総務部長

答2、基本計画は作成したが今後の実施にあたる任務もあるので、派遣を解き、市の職員として採用したいと考えています。窓口拒否は組合と交渉しており、解決します。

「税制改革」について市長の所見を問う

問、市長の考えを問う。

答、市長

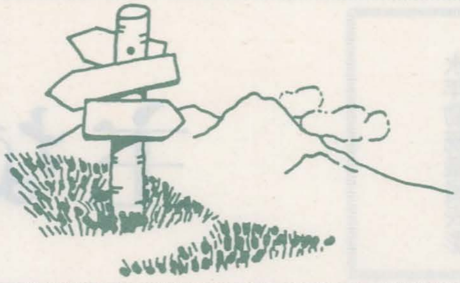
　安定した税収は必要ですが大型間接税は賛成できません。

総合体育館の建設と併せて「武道館」建設の検討を

問、武道館の建設予定を問う。

答、教育次長

　必要があるので検討します。



谷　長一

（自由市民会議）

用途地域の見直しと市街化区域内農地のありかたについて

問1、用途地域見直しに際し特に配慮された点を問う。

問2、農地の都市的利用が図れない理由を問う。

問3、公共施設のための土地信託制度導入の考えを問う。

答、都市整備部長

答1、市街化調整区域は、市の将来を考え現状のままとし、用途地域は、環境の保全を最優先に考え建ぺい率、容積率はできるだけ抑制したかたちで見直しをしました。

答2、都市近郊農家として、出荷し易いことから農業意欲が高いこと、地価高騰による資産価値の増大が考えられます。一方、一般市民からは、風景、防災上の避難区域、自然浄化等の役割としての要請、行政側からは、公共施設整備を進める上で、地価問題が大きな隘路になっていることなどがあげられます。

答、市長

答3、私有地のまま公共施設をつくることは、まだ法制上期待できる解決はできないと思いますので、これからの課題として研究いたします。

馬場　繁夫

（公　明　党）

快適環境整備に向けて

問1、日野市における、望ましい環境像を問う。

問2、日野緑地の保全状況と今後の緑地確保を問う。

問3、今後の木炭を利用した河川浄化計画を問う。

答、生活環境部長

答1、都市化が進み人口も増える状況で諸問題も起き苦情も出ています。公害問題が多くの苦情であり、根気強く問題解決に対応していきます。

答、建設部長

答2、現在人口1人当りの緑地は2・36㎡であり、今後も緑地信託等緑地保存に積極的に努力します。

答3、河川の浄化に適するか市内の用水路3箇所で試験を行っており、これを今後の指針にします。

南平地域の交通対策について

問、南平駅周辺整備の状況と今後について問う。

答、建設部長

　現在、駐輪場整備、道路整備、かすみ堤整備など計画している場所によっては、工事を進めています。今後は、利便性に向け努力をしていきます。

竹ノ上　武俊

（日本共産党）

日野市地域防災計画に米軍横田基地の核事故は想定しているか

　横田基地等には、米空軍により、核兵器が持ち込まれているとの証言が米兵からあり、また、雑誌、国会などでも取り上げられている。これら核兵器は、日野市上空を通過する米空軍機によって運搬されていると考えられる。

問、日野市の防災対策に核の災害を想定しているか問う。

答、生活環境部長

　日野市の防災対策には、自然災害、公害災害、河川等による災害などを想定しており、核による災害は想定しておりません。

答、市長

　自治体防災計画は、予測できる範囲を対象としており、それ以外の領域まで防災の対応をすることは不可能です。

　したがって、核の事故に関しては、自治体の発想する範囲として、各自治体とともに、核の廃絶の願いと、平和の願いをもって平和都市宣言等を行っている。それが、あり得ないことをよりあり得なくするための、一番のなし得る対応と考えています。

鈴木　美奈子

（日本共産党）

政府による補助金カットの市民生活への影響について

問1、国の補助金が昭和60年度から削減されているが、日野市での削減額を問う。

問2、国の補助金カットから市民生活をどのように守っているかを問う。

答、企画財政部長

答1、昭和60年度から3ヵ年と、昭和63年度の削減見込みを含めて、17億1千2万8千円が、補助金の削減額になっています。

答、市長、福祉部長、教育次長、都市整備部長

答2、補助金の削減された部分は、一般財源をあて、市民サービスの低下にならないよう努力しています。国に対しては、早急に補助金が復活するよう要望しています。

老人アパートをつくりおとしよりの住居を確保せよ

問、老人住居はつくれるかを問う。

答、市長、福祉部長

　老人により個別的条件もありますが、福祉施策として検討し、展開していきます。

一般

各定例会では、市政全般について一般質問が行わ
問がありました。

福島　盛之助
（自由市民会議）

体育（特に陸上競技）の振興と、市民の森陸上競技場の利用状況

問1、陸上競技場の利用実態と今後の利用方法を問う。

問2、公認の陸上競技場にする考えはあるか問う。

答、教育次長

答1、昨年6月からの使用開始でしたが、多くの方々が利用されました。今後は備品等も備えていきます。

答2、備品をそろえ公認をとる方向で努力し、都レベルの大会を開けるようにします。

幼児の減少と、公・私立保育園の運営状況について

問1、本年4月現在の公・私立保育園児の措置状況を問う。

問2、公・私立保育園の職員の配置と労働条件を問う。

答、福祉部長

答1、乳幼児は減少しており園児も減少傾向にあり措置数は定員に達しておりません。在宅児への対応は調査します。

答2、公・私立保育園とも、年齢別園児数に応じて職員を配置しております。公立よりも私立保育園が若干勤務時間が長くなっています。

米沢　照男
（日本共産党）

安心して住めるまちづくりをめざして病床確保に全力を

問、市民にとって重要な課題であるベット規制問題等について、地域保健協議会の審議を早く進め、市として対応すべきではないか問う。

答、市長

人口に見あった病床の確保を目指し、医師会とも話し合い、協議会に具体的な数字を示し合意の形成を図ります。

ねたきり老人への福祉施策の充実を

問、現状と在宅福祉サービス事業の内容について問う。

答、福祉部長

現在、市内に約300名の方が寝たきりで生活し、入浴サービスは、希望者が月1回程度の利用となっています。

地区センターの管理運営について

問、地区センターを葬儀に利用することができないか問う。

答、生活環境部長

現在は許可していませんが、この問題は今までも提起されており、今後、さらに検討していきたいと思います。

ネジバナ

馬場　弘融
（自由市民会議）

三多摩分県論のすすめ（大きく三多摩の発展を考えよう）

「三多摩分県論のすすめ」とは、三多摩の現状を打破するために、東京都に従属しているだけの三多摩ではなくて「分県論もあり得る」という発言をしていくことで、東京都当局には改善のためのプレッシャーになるのではないかとの認識に立つ考えです。

問1、三多摩分県論に対する市長の考えを聞きたい。

問2、現在のままの東京都政で良いと考えているか。

問3、三多摩のための都政というものを、財団法人東京都市町村自治調査会あたりから提言してもらってはどうか。

答、市長

答1、分県を論ずることで、住民が自治能力を高めるようになるとすれば、とても有意義なことと考えます。

答2、今のあり方で良いとは思っていません。多摩地域担当の副知事を置くくらいの比重をかけて欲しいものです。

答3、提言のようなことを、より強力に行うことが、自治体の、また団体としての役割と思います。

名古屋　史郎
（社会クラブ）

多摩平団地の建て替え問題に対する市の対応を問う。

問、昭和30年代に建てた団地は、全国的に建て替え計画の網に入ってきている。日野市は基本計画、第10節「快適な居住環境」のなかで——公団住宅についても、居住者の意思を尊重しつつ、関係機関に対して、居住環境の改善などを求めていかなければなりません——としているが、市はどこまで関与していけると考えているか。

答、市長

多摩平団地については、住宅・都市整備公団からのアプローチを待っているところですが、市から問い合わせる方法もありますので、これから行いたいと思います。

公団との協議にあたっては市民の立場を十分に守り、代弁をしてゆくことも市の役割と思っています。

「緑を守る」などの日野市独自の政策もありますので、それらも要求していきます。

そういう協定を事前につくって、市民が納得できる建て替えなどの事柄を公団に進めてもらおうと考えています。

奥住　日出男
（市民クラブ）

三小通りに循環バスの運行を

問1、路線の新設、延長等今後の計画について問う。

問2、循環バスに対する市民要望はどのようなものか問う。

問3、循環バスの収支状況について問う。

問4、三小通りに循環バスを運行させる考えを問う。

答、企画財政部長

答1、不便地域の問題は難しい面もあり、現在具体的計画はもっておりません。

答2、運行回数の増発、コースの変更、バス停の新設等が大きな要望です。

答3、62年度収支では、運行収入300万円に対し、人件費、燃料費、修繕費等の支出は、約2千800万円になっております。この内、市が1千万円を負担して運行をお願いしている状況です。

答、市長

答4、三小通りは幅員もあり延長地帯には、八王子の工業団地もありますので、バス会社としては、採算面の判断になると思います。

ある程度の公費負担を配慮し、実現させることがこれからの課題と思っております。

中山　基昭
（市民クラブ）

行政の当面する課題とその対応について

問1、地域福祉の充実と保健医療体制の確立を問う。

問2、文化・体育施設の整備促進を問う。

問3、行財政の課題と長期展望を問う。

答、生活環境部長、病院事務長、企画財政部長

答1、生活・保健センターの事業内容の充実に向け、現在計画中であり、昭和64年度には展開していきます。

市立病院は、建物の老朽化が進み市民に迷惑をかけていますが、人的な充実をはかりサービスに努力します。

南部地域病院誘致の努力は今後も続けて行きます。

答、教育次長、企画財政部長

答2、総合体育館の建設は、積極的に努力します。学校施設の開校は、現在、開放後の利用方法を検討中です。

多目的文化施設の建設等は検討委員会で考慮中です。

答、企画財政部長、総務部長

答3、各部・課の調整をはかり、組織機構に活力と機敏性を増すよう努力します。

職員配置は柔軟に対応し、適正化に努力します。

高橋　徳次
（自由市民会議）

平山大和田線（補助12号線）拡幅計画とその関連について（都市計画道228号線より八王子行政境の間）

問1、16号バイパスの開通に伴い、交通量が増え危険なので拡幅等整備できないか問う。

問2、補助12号線と浅川間の地域の行政区を変更できないか問う。

答、建設部長

答1、道路敷を有効に利用し路面整備を行います。今後、局部的に拡幅できる所の調査を実施したいと考えています。

答、都市整備部長

答2、難しい問題ですが、今後検討することになります。

老人会ゲートボール体協のゲートボール連盟とのかかわりとその問題点について

問、老人会と体協の連盟について次のことを問う。①各団体のゲートボールについての本質と考え方②両者の関係

答、福祉部長、教育次長

答、①老人会は友好中心、連盟はスポーツとしています。②団体間で調整すべきだが必要であれば行政も努力します。

夏井　明男
（公　明　党）

多摩平団地の建て替えについて問う

問1、63年第1回定例会後の市の情報把握と対応を問う。

問2、公団の新築状況を問う。

答、企画財政部長

答1、市のまちづくりの整合性の問題等を協議し、対応していきたいと考えています。

答、市長、都市整備部長

答2、工業地域の為、職住近接という形で賃貸住宅とし、全体では607戸であり、545戸は来年3月を第1次入居予定とし、62戸はさらに建設する構想になっております。地元企業にも一部社宅という形で検討してもらっております。

中学校の校則について

問、校則と課題について問う。

答、教育長

各学校と連絡をとり合い対応していきたいと思います。

外国人留学生に対する市の対応

問、留学生に対する市の基本姿勢について問う。

答、市長

地域住民と協力し、文化交流の機会をつくり努力していきたいと思います。

巣づくりするキジバト

宮沢　清子
（公　明　党）

高齢化社会に向けての住環境整備と充実向上について（高齢者集合住宅等）

問1、高齢者の住宅施策と都が推進しているシルバーピア構想について問う。

問2、高齢者集合住宅について、老人住宅基金の創設を考えられないか問う。

答、総務部長、福祉部長

答1、老人住宅の確保については、市営住宅の建て替え、民間住宅の借り上げで検討します。また、都とも協力して対応を考えていきます。

答2、議員の提言については、老人福祉施策の展開の中で、検討していきます。

学校図書室の充実について

問、小中学校の図書室の施設整備と内容充実を問う。

答、教育次長

現在、小中学校の蔵書数は一定の基準に達していますが教育指導上に必要な本をより増すようにつとめます。

図書室については、オープンスペースを取った、自由で利用しやすい図書室を年次的に進めていきます。

山口　達夫
（自由市民会議）

歩道の設置の現状について問う（児童生徒の安全と車社会の調和に向けて）

私は去る5月29日、市内を約3時間歩いてみて、車社会との調和の上で歩道がいかに大切であるかを実感した。それらも論拠として数点を質す。

問1、歩道や路側帯の設置基準はあるか。

問2、通学路の定期的な見直しをしているか。

問3、第二小学校北側の高幡橋から通ずる都道は、歩道がなく、用水路にフタをして代わりにしているが歩きにくい。改善の見込はどうか。

問4、緑の保全上、緑道等の道路緑化を考えてはどうか。

答、建設部長、教育次長

答1、「道路構造令」があります。これは技術的指針を示しているもので、整備をせよとの規定ではありません。

答2、見直しは毎年します。

答3、指摘の通りですので都建設局に改善を申し入れます。

答、市長

答4、お金をかけて考えるに値すると感じております。

常任委員会の審査状況

請願・陳情

総務委員会

採択

◎新大型間接税の導入に反対する意見書提出を願う請願

【請願の要旨】政府自民党では、新大型間接税（消費税）の導入を予定しています。

この制度は、国民負担を高め、中小商工業者にも負担が多く、国民生活を圧迫するものです。よって新大型間接税の導入に反対するものです。

【結論】賛成多数で採択です。

不採択

◎第四中学校給食に伴う定数条例改正に関する請願

【請願の要旨】今定例会に日野市職員定数条例を改正し、調理員職員を6名増員する旨の議案が提出されました。

この議案が議会で可決され正規調理員で学校給食が行えるよう求めるものです。

【結論】賛成少数で不採択です。

継続

◎法務局の増員に関する要請についての陳情

◎ジュネーブ条約追加議定書の加入についての請願

◎都営住宅家賃値上げ中止の意見書提出を求める請願

文教委員会

採択

◎落川・百草地域に図書館設立を求める請願

【請願の要旨】落川・百草の地域では高幡図書館が最寄りの図書館となり、交通の便も悪く特に川崎街道は交通事故の心配もあり利用しづらいのが実情です。

この実態をふまえ図書館の設立を要望するものです。

【結論】全員一致の採択です。

継続

◎公立中学校英語の授業時間増に関する陳情

◎第三幼稚園における2年保育4歳児の増員に関する請願

◎日野市立第二中学校音楽室に机を設置させるべく日野市教育委員会に勧告に関する請願

◎郷土芸能の保存に関する請願

◎再び万願寺一里塚現状保存を訴える陳情

厚生委員会

採択

◎神明地区センター早期建設を願う請願

【請願の要旨】同じ内容の請願は、今回で3度目です。市は市庁舎101会議室の利用を口にしますが、概ね空いていません。この地域の住民も増え続け、センターの必要性は増していますので、早く建設して欲しいというものです。

【結論】全員一致の採択です。

◎新町地区センター設置に関する請願

【請願の要旨】地区センターは住民にとって会合等の際に利用できるなど、何かと便利な公共施設です。新町一丁目、三丁目地域にもセンターを望む声が年を追って高まっていますので、この設置をして欲しいというものです。

【結論】全員一致の採択です。

◎入院ベットの確保に関する請願

【請願の要旨】想定されている都の医療計画は、結果的に病床規制となり、当市のベット不足の状況と相いれない。ついては、医療圏の設定は機械的にしない、病床の確保につき十分な配慮などを都へ求めてほしいというものです。

【結論】全員一致の採択です。

◎広場（遊園地）の用地の取得についての請願

【請願の要旨】至誠第二保育園の北西約50m先にある広場は、所有者側の好意によって付近の住民が利用している状態です。住民が安心して、ながく使用できるように、この用地を市で取得することを求めるものです。

【結論】全員一致の採択です。

◎神明・大坂上地区に児童館建設に関する請願

【請願の要旨】この地区は児童館がなく、一番近い児童館でも甲州街道を渡った日野児童館となります。一方、七小学童クラブの安住の地がない状態ですので、児童館を建てた上で、これに併設してもらいたいというものです。

【結論】全員一致の採択です。

◎資源ゴミ回収奨励費の内容拡充に関する請願

【請願の要旨】資源ゴミ回収団体による事業活動の助長と、市民のゴミに対する意識の高揚を図るため、奨励費の対象を現在の空ビンの他に、紙、布、金属類までとし、あわせて奨励費の増額を求めるというものです。

【結論】全員一致の採択です。

継続

◎東町地区公害に関する請願

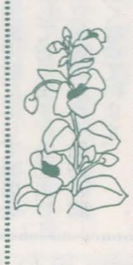
◎犬の不妊・去勢手術に関する市と市内病院（獣医師）との委託契約の改善と猫に対しての不妊・去勢手術に対する補助に関する請願

◎老人入院見舞金制の制定と実施に関する請願

◎日野市南部地域への総合医療機関の設置を求める請願

◎食品安全条例（仮称）の制定を求める請願

◎保健、医療、福祉の拡充に関する陳情



建設委員会

採択

◎私有地を利用し市道とすることに関する請願

【請願の要旨】大坂上二丁目区画整理実施区域に接した18～21番地は道路事情が悪く車の出入に不便な為、歩行者は市道への近道に南側の私有地を通り抜けております。災害に対処する為にも私有地の公道化を要望するものです。

【結論】全員一致の採択です。

継続

◎「国民の食料を守り、農業再建に関する意見書」提出についての陳情

◎多摩平六丁目32番地の8、9に建設予定のマンション建設阻止に関する請願

◎米の市場開放反対、農畜産物の輸入自由化阻止の意見書採択に関する陳情

◎山王下公園周辺の市営駐輪場設置反対に関する陳情

◎日野市東平山地区における緑地を守るとともに、私有地の買い上げを求める請願

取り下げ

◎市道新井第29号線の暗きょ排水施設に関する請願

今定例会で議決した議案（可決……可　修正可決……修可　否決……否）

市長提出議案

1、日野市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例（可）
2、日野市職員定数条例の一部を改正する条例（修可）
3、日野市消防団条例の一部を改正する条例（可）
4、日野市立総合病院看護婦准看護婦修学資金貸与条例の一部を改正する条例（可）
5、日野市ふるさと博物館条例の制定（可）
6、昭和63年度日野市一般会計補正予算（第1号）（可）
7、昭和63年度日野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）（可）
8、昭和63年度日野市立総合病院事業会計補正予算（第1号）（可）
9、市道路線の一部廃止（可）
10、市道路線の廃止（可）
11、市道路線の認定（可）
12、不動産の取得（可）
13、東京都市公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び東京都市公平委員会共同設置規約の変更（可）
14、日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（可）
15、浅川右岸第六処理分区（63の1）工事請負契約の締結（可）
16、浅川右岸第六処理分区（63の2）工事請負契約の締結（可）
17、浅川右岸第九処理分区（63の1）工事請負契約の締結（可）
18、日野第一旭が丘処理分区（63の1）工事請負契約の締結（可）
19、日野第一旭が丘処理分区（63の2）工事請負契約の締結（可）
20、神明上都市下水路（63の1）工事請負契約の締結（可）

議員提出議案

（可決された意見書は関係機関に送付されました。）

1、教育関係6法案の改悪に反対する意見書（否）
2、国庫補助金等の削減に反対する意見書（可）
3、警察拘禁二法案（刑事施設法、留置施設法）に反対する意見書（否）
4、東京地検による緒方宅盗聴事件不起訴処分の取消しを求めるとともに犯人ら警察官の起訴と共犯者の徹底捜査、真相の究明を求める意見書（否）
5、入院ベッドの確保に関する意見書（可）
6、新大型関接税（消費税）の導入に反対する意見書（可）

7月2日開通した　日野歩道トンネルの出入口

編集後記

梅雨入り前半は雨も少なく、今年もカラ梅雨にならなければと心配させられましたが、6月中旬過ぎからは、台風4号などの影響で降水量も平年並みにもどり、水源地の貯水量もほぼ満水状態といわれております。

「喉元すぎれば熱さを忘れる」ことのないよう、これからの水の大量需要期を前に、節水には十分に心掛けたいと思います。

夏の風物詩を代表する東京下町の朝顔市やホオズキ市も開かれ、この議会だより94号を皆さんのお宅へお届けする頃には、梅雨も明け、入道雲が浮ぶ夏本番となります。皆さんも、ご家族や友人と涼を求めて、夏休みの計画をお立てのことと思いますが、思い出残る楽しいひと夏をお過しください。

気象庁の3か月予報では、9月に入ってからも当分残暑が厳しいとのことです。次回開会予定の9月定例会中には、ソウルオリンピックも開幕され、4年に一度、その時代の歴史をつくる、若人の技と力の熱気も加わり、今年は特別あつい日が長く続きそうです。

皆さんも、暑さ負けなどしないよう、健康にお気をつけください。